

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	幼児教育充実事業			事業番号	038-041
担当部署名	教育委員会事務	局	教育センター・学校教育	部	能力開発・学校指導

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②多様で質の高い教育・保育サービスの提供			
			有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.2	
		寄与するKPI	有	取組	安全安心で質の高い幼児教育・保育の提供、小学校教育との連携			
			有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画	■堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン、堺市幼児教育基本方針、堺市子ども・子育て総合プラン						
3	事業開始年度	平成 10 年度		点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■教育基本法 学校教育法						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■出先機関・本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■市立幼稚園・小学校、市内の就学前教育・保育施設（270施設）					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■公民園種を超えた市全体の幼児教育の質の向上及び小学校教育との円滑な接続					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> ■保育者の資質向上に向けた研修や施設に対する助言・相談業務、幼児教育センター機能の充実 ■円滑な幼小接続のための研修や交流活動等の実施 ■要配慮児への指導に関する専門家等の派遣や研修等の実施 					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	■公立幼稚園の園運営及び研究実践に係る支援					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	堺市私立幼稚園連合会					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績		目標	目標
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	点検年度
11	%	目標値	50	50	50	100
		実績値	20	15		
		達成率	39%	30%		
当該指標を選定した理由		円滑な幼小接続に寄与するため				
目標値の設定根拠・算出方法		令和3年度:50%の学校で実施 令和7年度:全校での実施				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績		目標	
12	人	目標値	370	390	390	
		実績値	470	0		
		達成率	127%	0%		
当該指標を選定した理由		小学校と幼児教育・保育施設の職員が交流することで相互理解できる機会となり、スタートカリキュラム等について理解が深まるため				
目標値の設定根拠・算出方法		7割以上の参加（260学校園を対象に年間2回程度実施）				

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	幼児教育充実事業	事業番号	038-041
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	35,509	9,814	12,278	7,325	11,296
13 財源内訳					
国支出金	4,719	282	441	759	912
府支出金					
市債					
その他 ()					
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	30,790	9,532	11,837	6,566	10,384
14 人件費 (b)	11,480	11,340	11,540	11,540	16,720
15 年間経費(c)=(a)+(b)	46,989	21,154	23,818	18,865	28,016

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度		事業費		うち一般財源	項目	年度		事業費		うち一般財源
	R2	決算	4,832	4,832			R2	決算	23	11	
16 事業費内訳	保育補助員 報酬等	R3	予算	5,998	5,998	通信運搬費	R3	予算	23	23	
		R2	決算	678	339		就学支援冊子印刷製本	R2	決算	693	
	R3	予算	1,535	768	就学支援情報HP掲載委託料	R3		予算	0	0	
	R2	決算	365	365		就学支援情報HP掲載委託料	R2	決算	0	0	
	R3	予算	665	665	使用料(会場・バス)		R3	予算	150	150	
	R2	決算	0	0		使用料(会場・バス)	R2	決算	24	12	
	R3	予算	189	137	補助金(幼児教育振興事業等)		R3	予算	336	293	
	R2	決算	98	49		補助金(幼児教育振興事業等)	R2	決算	612	612	
	R3	予算	900	850	R3		予算	1,500	1,500		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 保幼小合同研修会の延べ参加人数	人	470	0
② 上記①にかかる年間経費	千円	2,954	0
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	6,285	

備考(算出についての説明等) 人件費、講師謝礼金、会場使用料をもとに算出 ※令和2年度はコロナ禍のため開催を中止

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>■保幼小合同研修会は、講演形式の研修でなく、各校園どうしの交流をメインにしているという性質から、令和2年度のコロナ禍において、開催することが難しく中止としたが、その他の幼児教育研修会や専門家等が直接施設へ訪問する派遣型の支援は必要最低限の費用で行うことができた。</p>
----	--

KPI等への寄与(基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>■コロナ禍においても、人数を制限しながら専門家の講義を直接聞ける研修の機会を保障し、園内研修支援や特別教育に係る専門家派遣等、各施設の個別の課題に応じた支援を実施し、市内の幼児教育・保育施設の質の向上に寄与した。</p>
----	---